

「ふくいスマートデコミッショニング技術実証拠点」

整備完了

日頃より、原子力機構の業務にご理解、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。 この度、当機構は、「廃止措置技術実証試験センター(仮称)ふくいスマートデコミッショニング技術実証拠点」[※]を敦賀事業本部に整備し、平成 30 年度から運営を開始する予定です。

※廃止措置技術実証試験センター(仮称)とは、文部科学省の支援施策である平成 28 年度補正 「地域科学技術実証拠点整備事業」で採択された「ふくいスマートデコミッショニング技術実 証拠点」(以下、「スマデコ」)の中枢として 3 つの設備を整備するものです。



《スマデコ施設外観》

この施設は、原子力発電所の廃止措置に関する技術について、地元企業様の成長をご支援し、産学官が一つ屋根の 下で地域経済の発展と廃止措置の課題解決に貢献するための拠点です。

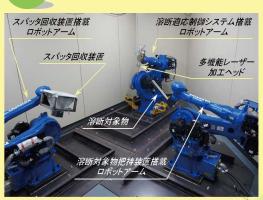
3 つの設備(フィールド)

廃止措置解体技術検証フィールド



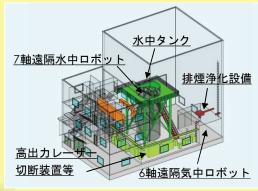
複合現実感 (MR) システムを使って、 精密に再現した解体現場をバーチャ ル体験!!

レーザー加工高度化フィールド



レーザーの遠隔操作で安全な作業の実現!!高出力レーザーも体験可能!!

廃止措置モックアップ試験フィールド



実際の原子力発電所の実機材を使って 気中切断、水中切断の体験!!

◆スマデコが目指すところ◆

廃止措置技術実証試験センター(仮称)は、福井県の強み(15 基の様々なタイプの原子炉が存在、原子力関連産業に携わっている企業が多い、原子力関連の教育・研究インフラが多く立地等)を活かし、地元企業様の成長をご支援する拠点として整備し、廃止措置技術の基礎研究から実証までを一貫して取り組めるように整備するものです。ここでは、技術力の強化により地元企業様の廃止措置事業への参画を容易にし、廃止措置ビジネスの確立と関連企業の育成を目指します。

当機構は、廃止措置技術実証試験センター(仮称)を廃止措置に携わる企業様、または、今後廃止措置に参入を検討されている企業の皆さまに、最大限有効にご利用していただきたいと考えております。

自社の技術力アップや、技術力を廃炉ビジネスに活用したい、または、 今後業務の拡大を検討している等、そのような企業様は、ぜひご利用く ださい。

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 敦賀事業本部 敦賀連携推進センター 産学連携推進室 〒914-8585 福井県敦賀市木崎65-20 TEL:0770-21-5033 FAX:0770-25-5782